

オンキヨー株式会社 事業紹介④ 食品、醸造加振技術開発について

オンキヨーホームエンターテイメントの子会社であるオンキヨー株式会社は、2021 年 1 月 29 日付「当社グループのご紹介について」で、ご説明の通り、音楽配信やブランドコラボレーション事業、また Onkyo AI のノウハウを利用した新たなビジネスの創出を主事業としております。

2 月 12 日よりスタートしましたオンキヨー株式会社の主要事業のご説明について、第 4 回目は、食品や日本酒などの醸造物への加振への取り組みについて説明いたします。

開発の背景

当社では、これまでのスピーカー技術を活用し、加振器「Vibtone」を様々な分野で販売をしており、その加振器の応用展開として、食品や日本酒などの醸造物へ、振動や音楽を伝える技術開発を進めています。お酒に音楽を聴かせると味わい深くなる、といった取り組みを様々な酒蔵の方々が進めておられ、その取り組みを当社で技術的な見地から解析し、その要因、メカニズムを突き詰め、そのノウハウをサービスとして、酒造メーカーや食品を取り扱う会社に提供すべく、研究開発を進めております。

取り組み内容

2020 年、日本酒「獺祭」を醸造している旭酒造様、日本センチュリー交響楽団とのコラボレーションにより、当社の加振器「Vibotone」で「獺祭」に日本センチュリー交響楽団にて作成された音楽を聴かせる、という機会ができました。

この機会を通じて、日本酒などのお酒を含む醸造物、や果実、野菜を含む植物などへの音楽、振動を伝えることによる変化を研究開発し、当社の加振技術および音解析技術を役立てようと考え、2020 年 7 月に東京農業大学と酵母の変化に関する共同研究、2020 年 11 月には奈良先端科学技術大学院大学と植物の生育に関する共同研究を開始しました。さらに、2020 年 12 月には椎茸栽培への音、振動による生育影響の共同研究を日本工業大学と開始しております。現在、エビデンスを獲得すべく、研究を続けております。

音楽や幅広い帯域の周波数の振動を伝えることができる当社の加振器「Vibtone」は、スピーカーから空気を介して音楽が伝わるのと違い、直接物体を振動させることが可能なため、効果的に音楽を伝えます。

オンキヨーグループの技術が詰まった加振器「Vibtone」と、共同研究活動で得られた知見を活かし、食品会社へノウハウを提案するとともに、優位性の高い技術を提供、得られたエビデンス、醸造メーカー、食品会社とのコラボレーションを加速、ロゴプログラムとして「Matured by Onkyo」を提供するなど、新たなビジネス創造を進めてまいります。

Matured by
ONKYO
Since 1946

次ページに画像付きで詳しく解説いたします。

【関連リンク】

- ◆日本センチュリー交響楽団×「瀬祭」×オンキヨー共同制作プロジェクト始動

https://onkyo.com/news/images/2020/20200217_dassai_project.pdf

- ◆加振器による振動および音を利用した発酵技術の開発について

～東京農業大学との「食」に関する共同研究を開始～(2020年7月1日付)

https://onkyo.com/news/images/20200701_PR_sangaku-tokyonodai.pdf

- ◆加振器による振動および音を利用した植物生育環境の研究について

～奈良先端科学技術大との共同研究を開始～(2020年12月21日付)

https://onkyo.com/news/images/20201221_industry-academiacollabo_NAIST.pdf

- ◆加振器による振動および音を利用した椎茸の栽培促進技術について

～日本工業大学との共同研究を開始～(2021年1月20日付)

https://onkyo.com/news/images/20210120_PRcollaborationNITac.pdf

ONKYO.

A decorative blue wavy line that starts from the left, below the ONKYO logo, and flows across the slide, passing behind the main title.

“Vibtone”を使った加振ビジネス

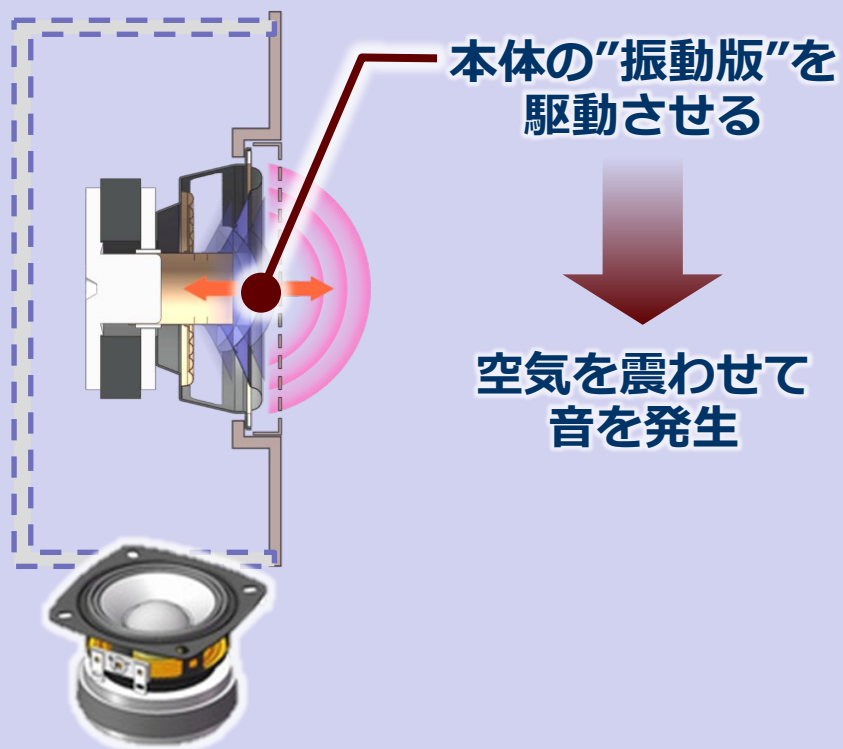
オンキヨー株式会社

2021.2.25

“Vibtone” (加振器スピーカー)の特徴

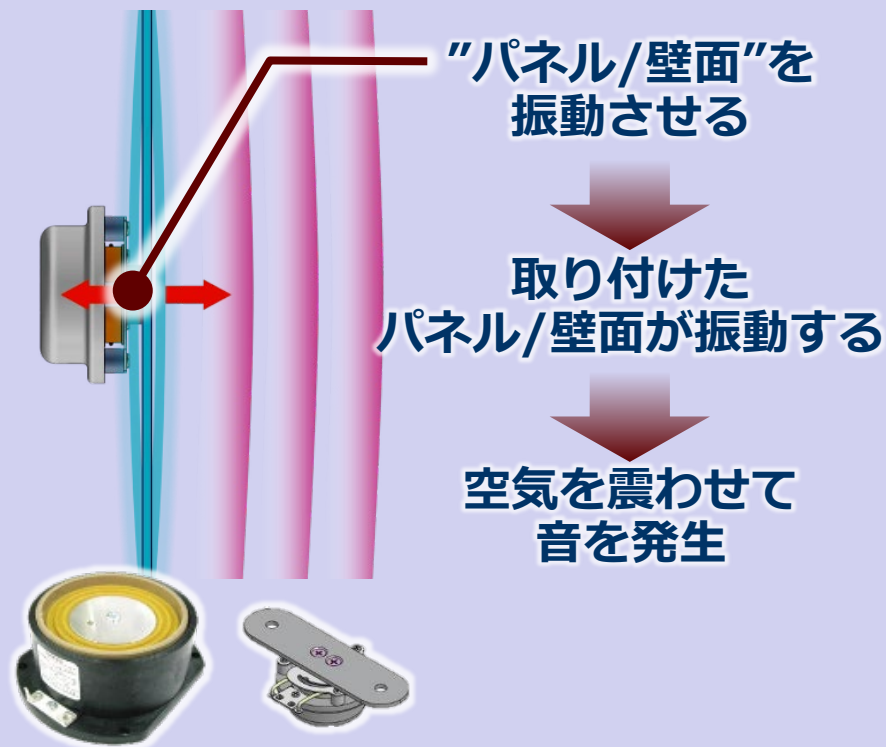
スピーカーと加振デバイス “ビブトーン” との違い

一般的なスピーカーの振動パターン



音の大きさはコーン紙のサイズで決まる
背面を閉じることで音質性能を高められる

“Vibtone” の振動パターン



取り付け面全体がスピーカーになる
背面を閉じる必要がなく広い用途が可能

加振デバイスをつかったビジネス事例

振動・音楽醸造サービス

“日本センチュリー交響楽団” × “獺祭” × オンキヨー共同制作プロジェクト

生物/生体音



音楽/振動による
醸造過程での
効果/効能研究

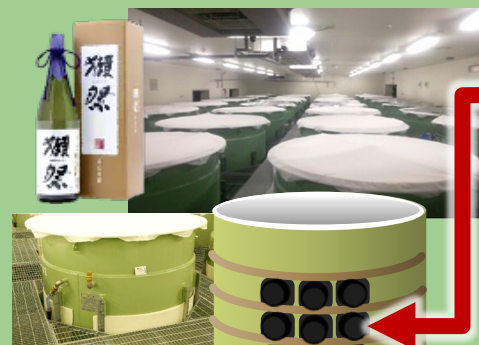
- 振動による味の変化の学術的見地
- 発酵製品へのノウハウ提供

音楽醸造/振動発酵
支援

発酵の効率化
最適化

旭酒造株式会社

オリジナル交響曲 + 音楽醸造
あらたな付加価値提案



醸造樽に直接取付



世界を代表する日本酒
「獺祭」を“音楽醸造”する

ONKYO

“Vibtone”による効果的な
“音楽振動”を提供



Matured by
ONKYO
Since 1946

酒造樽に取りつけて
音楽と振動を最適化する

Japan Century
Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団

日本酒にも音にも酔える
“オリジナル楽曲”を提供



オリジナル交響曲を提供

旭酒造の酒造り魂の
交響曲を作曲・演奏

「交響曲 獺祭 ～磨 migaki～」として完成、2021年2月26日、27日に
大阪府豊中市と地元山口県周南市にて演奏会を行い当日の観客向けに販売

加振デバイスをつかったビジネス展開

音とAIのノウハウから新しいエクスペリエンスを創出

Vibtone の振動技術 と Onkyo AI による「振動とストレス」の研究ビジネス化

植物

奈良先端科学技術大学院大学

“振動ストレス”による幼植物の成長過程での研究



シロイヌナズナの成長効果検証

- 振動による成長の変化の学術的見地
- 野菜や果実などのへ効能に展開

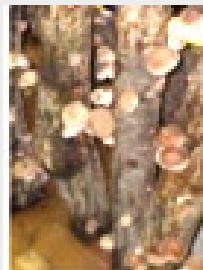
加振によるバイオサイエンス

さまざまな周波数や音楽の加振を加えて
成長の変化を確認中

菌糸

日本工業大学

“電気(音声)刺激”による椎茸栽培の増産効果検証



椎茸の栽培をコントロール

- 音声・振動による生育コントロール
- 菌類などの生育制御技術の提供

音/振動による栽培促進提案

椎茸の培地となる、原木、菌床に対し
音、振動の解析を開始

加振デバイスをつかった今後の展開

音楽醸造や音楽発酵 サービスの展開

加振デバイスを活用した“音楽醸造”や“音楽発酵”で新たな付加価値提案

“発酵”食品市場への 付加価値提案

食品メーカーの付加価値づくり

原材料の付加価値

加振デバイスによる

- 音楽成長
- 音楽栽培 など

生産・製造工程の
付加価値

加振デバイスによる

- 音楽発酵
- 音楽醸造 など

マーケティングの
付加価値

特定の楽曲を
付加価値として加振

- 著名人の演奏楽曲
- 商品に関連した楽曲
- 演奏会場での販売 など

販売の付加価値

“音楽食品(仮称)”で付加価値展開



ONKYO®